

聖隷藤沢ウェルフェアタウン

みんなで楽しく学ぼう 家族で災害への備え

今後30年以内で発生率は70%を超えている大型地震
 いざというときの災害に対する備えを、どのような心構えで、どのように準備し、行動するべきか
 災害時の準備のイベントを開催



講演者：松尾貴史様

2018年3月10日（土） 13：00～16：30【入場無料】

【会場】 藤沢市保健医療センター 3F研修室（聖隷藤沢ウェルフェアタウン隣接）

【定員】 要事前予約 先着200名様

【会場】 聖隷藤沢ウェルフェアタウン かわせみホール【来場自由】15：10～

社会福祉法人 聖隷福祉事業団（法人本部：静岡県浜松市／理事長：山本敏博／以下、聖隷）は、災害への備えに関するセミナーを、藤沢市健康福祉部・防災安全部と協力し、2018年3月10日（土）13：00より聖隷藤沢ウェルフェアタウン かわせみホールと、藤沢市保健医療センター3F研修室（聖隷藤沢ウェルフェアタウン隣接）の2会場で開催します。参加費は無料、要事前予約、先着200名様。ハガキ、メール、FAXのいずれかでお申し込みができます。イベント参加者には、もれなく「防災の手引き※1」プレゼント。（※1株式会社アクセスプロGRESS：作成）

テーマ「家族で災害への備え」

今後おこるであろうといわれている「首都圏直下地震」と「南海トラフ巨大地震」。
 2011年3月11日、最強震度7の強い揺れと国内観測史上最大ともいわれる津波で東北を中心に大きな被害をもたらした東日本大震災。予想を超える大きな被害は、国内外に大きな衝撃をもたらしました。
 7年が経過した今、これらの経験を忘れることなく、いざという時の災害に対する備えをどのような心がまえで、どのように準備し行動するべきか。今一度、再確認するためのイベントです。

イベント内容

■家族に知ってほしい 災害時の準備 ～藤沢市保健医療センター 研修室～

【災害が発生した時の心がまえ】13：15～ 松尾貴史様 講演

神戸出身で阪神淡路大震災経験者でもある松尾貴史さんをお迎えして、被災した後に必要となる心がまえや、行動等をお話いただきます。

【災害時の行動・災害への備え】14：30～ 藤沢市防災安全部危機管理課様 講演

震災の為の準備や災害が発生した時の行動、身の回りの物で行える応急処置など、万が一の時に実行すべきことをわかりやすく伝えていただきます。

■みんなで学ぼう 万が一の災害の話 ～聖隷藤沢ウェルフェアタウン かわせみホール～

【「きぼうのかんづめ」絵本読み聞かせ】15：10～ 松尾貴史様 朗読

石巻漁港の「木の屋石巻水産」様が、大津波で傷つき泥だらけになりながらも流されずに残った缶詰を、洗って売るという行為は、従業員の皆さんだけでなく、関わる多くの人たちを繋げ、大切なことを教えてくれました。悲しみをシェアすれば半分になる。希望をシェアすれば倍になる。分かち合いたい、助け合いたいという想いが一冊の絵本となり、今回、松尾貴史様に朗読いただきます。

★みんなで学ぼう 万が一の災害の話 その他同時展開

- ・【復興への道標】宮城県石巻で東日本大震災を経験した、「木の屋石巻水産」様をゲストに向え、当時のお話やそこからどのように前を向き歩き始めたかをお話いただきます。
- ・震災のパネル展・折り紙教室・物販コーナー・防災グッズ展示・缶詰レシピ配布

イベント詳細概要

○日時…2018年3月10日（土）13:00～16:30（予定）

○後援…藤沢市

○場所…会場1：藤沢市保健医療センター 3F研修室【要事前予約 先着200名様】

○参加費…無料

会場2：聖隷藤沢ウェルフェアタウン かわせみホール【来場自由】

○講師…松尾貴史様、木の屋石巻水産様、
藤沢市健康福祉部様、藤沢市防災安全部様

要事前予約 お申し込み【防災イベント係まで】※締め切り：2月26日（月）必着

ハガキ、メール、FAXのいずれかでお申し込みください。発表は参加証の発送をもって代えさせていただきます。

【ご記入内容】①郵便番号 ②住所 ③氏名（ふりがな・性別・年齢） ④参加人数 ⑤電話番号

【ハガキ】〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4大阪富国生命ビル14F 株式会社アクセスプロGRESS内「防災イベント係」

【メール】fujisawa-bousai@access-t.co.jp

【FAX】0466-86-9150「防災イベント係」

【問合せ】聖隷藤沢ウェルフェアタウン 0466-86-9160（受付時間／午前9時～午後5時 土・日・祝を除く）

藤沢市保健医療センター 3F研修室

**【先着】
200名**

**家族に知ってほしい
災害時の準備**

移動時間
約10分

聖隷藤沢ウェルフェアタウン かわせみホール

**みんなで学ぼう
万が一の災害の話**

**来場
自由**

近隣住民、子どもがいるご家族や高齢者などを対象に
収容人数200名の会場で2部構成で公演・セミナーを行います。

近隣住民、子どもがいるご家族や高齢者などを対象に
収容人数100名の会場で展示会、催しを行います。

13:00～13:05
[5分]

聖隷藤沢ウェルフェアタウン総園長

13:05～13:20
[15分]

藤沢市 健康福祉部長 ご挨拶

第一部
13:20～14:20
[60分]

災害が発生した時の心がまえ

【講演者：松尾貴史様】

阪神大震災を体験し、東日本大震災が発生してすぐに現地へ向かい、様々な支援を行ってきた「松尾貴史」様を迎えての公演。
被災地の話、そこから立ち上がり前に進み始めた人たちの実話。そして、現在進行している東日本大震災をテーマとした映画「きのうのかんづめ」の制作を通して感じた、被災した後に必要な心構えや行動等をお話していただきます。

第二部
14:20～14:50
[30分]

被災時の行動・災害への備え

【講演者：藤沢市防災安全部 危機管理課】

震災のための準備や災害が発生した時の行動、身の回りのもので行える応急処置など、万が一の時に実行すべきことを、わかりやすく伝える公演です。

15:10～15:40
催し その1

「きぼうのかんづめ」絵本 読み聞かせ（朗読）

【朗読者：松尾 貴史 様】

大震災から1年後の2012年3月には、木の屋石巻水産を応援する活動の中心にいた、さばのゆ店主の手によって「きぼうのかんづめ」（株式会社ピーナイス刊）という絵本が完成し、社団法人日本図書館協会の選定図書に選定されました。その絵本をこどもたちにむけて読み聞かせを行います。

15:40～15:55
プレゼント抽選会

「きぼうのかんづめ」絵本 5冊（松尾貴史様サイン入り）

※ハズレの場合はお菓子プレゼント

16:00～16:30
催し その2

折り紙教室

【講師：松尾 貴史 様】

常設

復興への道標

宮城県石巻で東日本大震災を経験した、「木の屋石巻水産」様をゲストに呼び、当時のお話や、そこからどう前を向き歩き始めたかをお話いただきます。

13:30～16:30
同時展開

●震災のパネル展

震災当時の写真や、そんな時でも笑顔で前向きに歩んでいる人々の写真パネル展を常設します。

●物販コーナー

●防災グッズ展示【藤沢市協力】

●缶づめレシビ配布【木の屋石巻水産 / 「きぼうのかんづめ」絵本など

●ふじキュン撮影会（予定）

16:30～17:00
撤収

社会福祉法人 聖隷福祉事業団の概要

法人名	社会福祉法人 聖隷福祉事業団（せいれいふくしじぎょうだん）		
創立	1930年（昭和5年）5月		
基本理念	キリスト教精神に基づく「隣人愛」		
代表者	理事長 山本 敏博（やまもと としひろ）		
所在地	静岡県浜松市中区住吉2丁目12番12号（法人登記）		
事業内容	1.保健事業 2.医療事業 3.福祉事業 4.介護サービス事業		
聖隷福祉事業団 URL	http://www.seirei.or.jp/hq/		
高齢者公益事業部	http://www.seirei.or.jp/eden/		
事業規模	施設・事業数	153施設・324事業（2018年1月現在）	
	職員数	14,623名（2017年11月現在）	
	サービス活動収益	約1,098億円（2016年度）	

報道関係の皆様方におかれましては、以上ご配慮賜りたくお願い致します。

＜本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先＞

【聖隷福祉事業団】広報事務局（フロンティアインターナショナル内） 担当：前川、渋谷、森、千葉

TEL：03-5778-4844 / FAX：03-3406-5599 / mail：frontier-pr@frontier-i.co.jp